

研究開発項目：フェーズ1－⑤ 浮体式洋上風力における共通基盤開発

事業の目的・概要

2030年までに一定条件下（風況など）で、浮体式洋上風力発電を国際競争力のあるコスト水準で商用化する技術の確立を目標に、これまで取り組んできた技術開発・実証事業等による知見・成果も踏まえ、大型風車と浮体の一体システムを対象とした最適な設計手法の開発及び規格の策定・標準化を進めることによる低コスト化・量産技術の確立等を実施する。

【支援規模*】 約40億円 【事業期間】2025年度～2030年度

実施概要

※太字：幹事企業

* インセンティブ額を含む。今後ステージゲートでの事業進捗などに応じて変更の可能性あり。

＜事業名＞浮体式洋上風力発電の社会実装及び国際展開に向けた共通基盤技術の開発

＜事業者名＞**浮体式洋上風力技術研究組合（FLOWRA）**

＜計画概要＞以下、“事業イメージ”の記載内容参照

事業イメージ

要素技術開発（フェーズ1）

- ①次世代風車技術開発事業
- ②浮体式基礎製造・設置低コスト化技術開発事業
- ③洋上風力関連電気システム技術開発事業
- ④洋上風力運転保守高度化事業
- ⑤浮体式洋上風力における共通基盤開発（本事業）

計画概要

TWG1

- ・浮体システムの効率的検討手法の構築（プロトタイプ業務支援ツールの開発）
- ・設計手法の標準化及びガイドライン策定

TWG2

- ・浮体の大量/高速生産方式の技術開発
- ・専用スマートファクトリーの仕様策定他

TWG3

- ・遠洋・大水深における係留システム最適化
- ・施工計画、O&M計画の立案及びガイドライン策定

TWG4

- ・大水深ダイナミックケーブル技術確立
- ・浮体式洋上変換所の最適化

TWG5

- ・遠洋におけるフローティングライダー計測技術確立
- ・欠測補完技術の推奨基準策定

浮体式システム全体最適化

「浮体式洋上風力発電の社会実装及び国際展開に向けた共通基盤技術の開発」イメージ

